

サプライヤー情報のセキュリティ

情報保護の責任は全員にあります

立ち止まって、考え、保護しましょう

コーニングのサプライヤーが、コーニングの行動規約を含む、情報セキュリティポリシーと手順を理解し、これを適用する方法を把握することが重要です。

企業スパイ – この脅威は実在します!



企業スパイ対策には、非常に高いコストが掛かります。正確な数字は不明ですが、企業スパイにより、世界経済において年間平均数千億ドル、さらに数百万の雇用が失われていると推定され、GDP成長を大きく減少させています。コーニングの競合他社は、競争優位性を得るため、コーニングについてできるだけ多くのことを知りたいと思っています。サプライヤーの皆様には、安全な行動を心掛けていただくようお願いいたします。また、当社では、サプライヤーの選別でこの点を考慮しております。

競合相手の知りたいこと

コーニングの技術およびコーニング向けに設計・制作された装置に関する情報	商品/財務分析	企業の財務的健全性	コーニングが使用する原材料	売上および市場シェアデータ	公表されていないコーニング株式会社の新製品についての詳細
-------------------------------------	---------	-----------	---------------	---------------	------------------------------

コーニングの行動規約の重要な情報



コーニングの行動規約に従わない場合は、ペナルティが課せられるか、将来の取引に影響が及ぶ可能性があります。

1. コーニングの情報は、必ず、コーニングから与えられた業務を完了するために必要な「知る必要のある」者とのみ共有してください。
2. プロジェクトが終了すると、コーニングの情報はすべて恒久的に破壊するか、コーニングに返却しなければなりません。
3. 誰もいないところにコーニングの情報を置いたままにしないでください。印刷した紙ベースのコーニングの全情報は毎日の業務終了時点で厳重に保管してください。
4. コーニングの情報の電子版はすべて暗号化し、パスワードで保護して厳重に保管してください。
5. コーニングの情報はコーニングが承認した安全な方法のみで送信してください。
6. コーニングの全情報に適切なドキュメント分類マークを付けてください（2ページを参照）。
7. コーニングの装置があるエリア、または作業中のエリアに不正に立ち入らないように各エリアを管理してください。
8. コーニングの情報を公の場で話したり、インターネット/ソーシャルメディアに投稿したり、事前の書面による同意なしに別のサプライヤーに公開したりしないでください。
9. コーニングの施設内のアクセス管理ポリシーおよび手順を順守してください。
10. コーニングの情報が不正に開示された場合は、直ちにコーニングまで報告してください。
11. 認定下請け業者は、コーニングの機密情報を保護する義務を負い、コーニングの行動規約に準拠するものとします。

サプライヤー情報のセキュリティ

情報保護の責任は全員にあります

立ち止まって、考え、保護しましょう

情報セキュリティに関する重要な役割と責任を理解する



この三者すべてがサプライヤー情報セキュリティに関するコーニングの行動規約 (RoE) を理解する必要があります。

サプライヤー

- あらゆる機密保持契約を順守すること
- 監査に備えること

コーニングチーム

- サプライヤーがコーニングとの契約上の義務を順守していることを監視すること

コーニングのバイヤー

- 取引上のやりとり全体を管理すること

コーニングのドキュメント分類ガイドラインに準拠する

適用対象：あらゆる形態の情報

内容：コーニングのドキュメント所有権、その機密性、取り扱い方法。

「一般 - コーニング (L4)」には、コーニングのすべての作業成果物が含まれます (ただし、特別に他の分類に含まれる場合を除く)。

コーニング以外

一般 - コーニング (L4)

機密 - コーニング (L3)

極秘 - コーニング (L2)

概要

コーニング以外のドキュメント (機密保持義務の対象外)。これには、サプライヤーまたはサードパーティーが作成し、通常業務の一環としてコーニングに提供された情報、またはコーニングのシステムに保存された業務以外の情報などが含まれます。

概要

コーニングの全従業員の作業生産物 (ただし、特別に他の分類に含まれる場合を除く)。この情報では、機密保持契約の締結が必要になる場合があります。

概要

コーニングが作成し、適切なセキュリティプロトコルを用いて、必要最小限の人にのみ共有される情報 (例: TSVR3、氏名、電話番号、住所などの個人データ)。この情報では、機密保持契約の締結が必要になります。

概要

保存、アクセス、破棄に関する追加のセキュリティコントロールを適用し、必要最小限の人にのみ共有される極秘情報。この情報では、機密保持契約の締結が必要になります。

使用する場合 (例) :

- サプライヤーまたはサードパーティーによって作成された情報
- ベンダー (外部業者) のドキュメント
- 顧客のドキュメント
- 業務以外のドキュメント (例: 食料品リストなど)

使用する場合 (例) :

- 職務明細書
- ベンダーとの初回のやり取り
- 議事録 - トピックによる
- 組織の発表
- イントラネットのコンテンツ

使用する場合 (例) :

- 製品開発計画
- 工場の標準作業手順 (SOP)
- 予算および予測
- 個人データ (氏名、住所など)
- TSVR3

使用する場合 (例) :

- 製造コスト、マージン、価格設定
- 資本および財務プランニング
- 重要なサプライヤーリスト
- 自社開発のコーニング機器の図面
- TSVR2

Microsoft Information Protection (MIP) コントロール

非暗号化

MIPを使用できないリポジトリにコンテンツを保存する場合、または制限対象外のコンテンツを共有する場合に使用

暗号化

社内のみで使用 (@corning.com)

カスタム

特定グループのユーザーにのみコンテンツのアクセスを制限するために使用

転送禁止

メールコンテンツのアクセスをコントロールする場合に使用

コーニングの情報の保護にご協力をお願いいたします。